



自立し、互いに関わり合いながら、よりよい社会づくりに参画し行動する「有徳の人」の育成を目指して

Eジャーナルしずおか

平成25年(2013年)
1月11日
金曜日
第106号

発行・編集 教育政策課 〒420-8601 静岡市葵区道手町9番6号 TEL 054-221-3168 FAX 054-221-3561 E-mail kyoul_seisaku@pref.shizuoka.lg.jp

自ら考える・連携する

〇はじめに

明けましておめでとうございます。新しい年を迎え、最近大切だと感じている二つのことについてお話しします。

〇自ら考える

一つは、自ら考えるということです。子どもたちや教職員の中で、様々な課題に対し、「自分たちで考えていこう」「私たちが解決に向けた提言をしていこう」と、自らの課題として捉える取組や機運が、着実に増加しているように感じています。

ある小学校では、児童会で討議を重ね、いじめ防止のための三つの宣言を定め、子どもたち自らがいじめ対策に取り組んでおり、自分たちで決めた宣言に対して意識が希薄になると、再度児童会で確認し合う活動も行われていると伺ったことがあります。生徒会が「5つの誓い」を高礼に刻んで、昇降口に設置した中学校もありました。

また、高校生の交通事故が増加している状況から、今年度初めて夏季休業中に県下10地区において、高校生自らが話し合う「高校生交通安全地域連絡協議会」が開催されました。高校生の力で交通事故を減らしていこうという積極的な意見が多く出されました。

教職員にあっても、不祥事再発防止のために、各職場において教職員自らが対策を出し合い実践する場面が多く見られるようになりました。

このように、それぞれの立場で自ら知恵を出し合い、解決に向け取り組んでいる姿を頼もしく、そして、ありがたく感じています。今後もこのような機運がますます高まってくれるものと期待しています。

〇連携する

いま一つは連携するということです。

教育を取り巻く課題が多様化・複雑化・複合化する中で、学校と家庭・地域社会との連携、教育行政においては健康福祉、経済産業、危機管理、警察等の部局と、さらに県は市町との連携を一層密に取りながら対応していくことが求められていると思います。

具体的には、学校にあっては、子どもたちに関わる様々な問題に適時適切に対応していくために、保護者や地域の方々、あるいは児童相談所や警察などとこれまで以上に連携を強めていくことが必要です。

「学校は多くのことを担っているのではないか」といった意見も聞かれる中、学校を開き、連携を通して個々の課題を解決していくためのスクラムを組んでいく必要があるように思います。

連携していくということは、子どもたちをはじめ人の成長に関わる教育や学校が消極的になったり、課せられた責務から遠ざかったりすることではありません。より多面的・多角的な視点を持ち、連携するそれぞれが持っている力と知恵をお借りし、結果を共にすることにより、これまで以上に効果的な関わりが可能となるものと思っています。

県教育委員会と市町教育委員会との連携についても、昨年度から、教育委員会による意見交換の場を設け、教育課題への対応策を共に検討してきました。今後とも継続して連携を進めていきます。

〇むすびに

以上述べてきたことを大切にしながら、今年も、自立し、他者と関わり合い、社会に貢献できる「有徳の人」づくりに、皆さんと共に取り組んでいきたいと思ひます。



静岡県教育委員会教育長 安倍 徹



継続は力

静岡県教育委員会委員長 高橋 尚子

夫は毎日お風呂上りに腕立て伏せや腹筋などの筋トレとストレッチを必ずやっています。結婚以来22年毎日欠かしません。

旅行に行ってもその光景は変わりません。出張でホテルを利用するときの一番の不便是、筋トレやストレッチをする場の確保だと言います。

このことは本当に尊敬していることです。本人は、「毎日の自分のルーティンだからたいした事ではないよ」と言いますが、何事も、およそ三日坊主になってしまいうる私にとつては真似のできないことです。先日の人間ドックの結果はすべてA

旅行に行ってもその光景は変わりません。出張でホテルを利用するときの一番の不便是、筋トレやストレッチをする場の確保だと言います。このことは本当に尊敬していることです。本人は、「毎日の自分のルーティンだからたいした事ではないよ」と言いますが、何事も、およそ三日坊主になってしまいうる私にとつては真似のできないことです。先日の人間ドックの結果はすべてA

コツコツと積み重ねていくことは、すぐに大きな結果には結びつかないかもしれませんが、しかし、確実に、力となり自信となり、やがては大きな実りを結んでいくのです。

「面倒くさい」「今日も書き取り、嫌だな」など色んなことを言いますが、取り組んでいます。真面目に書いている子は書き取りのテストで結果を出しています。

コツコツと小さなことを積み重ねていく努力を、実らせるために必要なものは何でしょうか。粘り強さもそうです。意志の強さもそうです。他にも達成感や向上心など様々なものがあると思います。中でも私が大事にしたことは、見えない「コツコツ」を、見逃さず、認めてくれる人の存在だと感じます。

子どもであるなら、うちの人や先生たちのような身近な大人がそうであってほしいと思います。大人が期待する「コツコツ」ではなく、その子なりの積み重ねを認めてほしいと思います。

今年も、認め合い、高め合い、小さなことの積み重ねを大切にしながら、大きな目標に向かって手を取り合っていきたいと思います。

小山町立立山中学校は、平成23・24年度の2年間、県の人権教育研究指定校として、実践・研究を進めてきました。ここでは、その実践をお伝えします。

「当たり前」を再確認 人権教育研究指定校の実践



小山町立立山中学校は、平成23・24年度の2年間、県の人権教育研究指定校として、実践・研究を進めてきました。ここでは、その実践をお伝えします。

「人権」という言葉を意識し始めてから、私たちが教師の感覚や生徒の言動は大きく変わりました。その結果、生徒と教師、生徒同士の対話が増え、生徒が自分の考えを伸び伸びと発言したり、仲間と笑顔で接したりする場面が増えました。また、教師は「人権感覚を持つ人」として、模範になることの大切さを実感しました。(職員のアンケートより)

生徒会が掲げたスローガンは、「伝心柱(でんしんばしら)」。企画・運営から振り返りまで、教師と生徒一人一人が心を伝え合っており、心を通じ合わせることで、互いの成長を実感し、認め合う喜びと自信につながっています。

このような観点から日々の授業を問い直し、「考えて、聴き合い、反応(表現)する」授業を目指しました。こうして、生徒主体の学び合いが生まれ、「授業が楽しい」「伝え合えると楽しい」「もっと聴きたい」「授業が分かった」と学びに対する期待感と自信が生まれてきました。

人権教育の視点で日々の生活を見直す

自分たちが「誇り」とする「あいさつ」「合唱」「部活動」を「自信」にして、自分を尊重できる居心地の良い学校づくりに取り組みました。

教育政策課 人権教育推進室

実践NOTE 21

音楽の鑑賞つて 楽しい!

「共通事項を視点とした言語活動の充実」
静岡市立安倍口小学校 教諭 橋本 絵理



鑑賞の授業と言え、
「聴いた曲の感想を書か
せて終わり」という経験
はないでしょうか。学校
教育における鑑賞の授業
では、楽曲について友達
の感じ方との違いに気付
いたり、感じ方の根拠を
音楽の中から見つけ出し
たりする中に学びがある
のではないかと思います。
そこで、共通事項(「旋
律」「リズム」「音色」
などの音楽を構成する要
素)に視点を当てた言語
活動を充実させることで
音楽をより深く味わうこ
とができるようになるこ
とを考えました。

「音の重なりを感じる」
ことができるよう、学習
過程を「気付く」「感じ
取り深める」「味わう」
という3段階に構成した
「アルルの女第一組曲よ
り『鐘』」の実践(小学
校3年)を紹介します。

気付く

音楽を聴き、想像した

「音の重なりを感じる」
ことができるよう、学習
過程を「気付く」「感じ
取り深める」「味わう」
という3段階に構成した
「アルルの女第一組曲よ
り『鐘』」の実践(小学
校3年)を紹介します。



班での話し合い

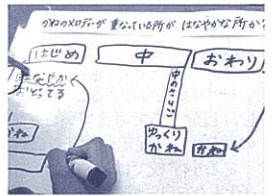


鐘の音に合わせて動く

「気付く」段階で出され
た意見を基に、共通事項
の「音の重なり」と「強
弱」を視点として話し合
いを行います。ここが言
語活動の重要な場
面であるため、グル
ープの話し合いを
ホワイトボードに
メモらせていきま
す。

「どこで鐘の音が
重なっていたのか」
ということを通し
合っている中で、
「華やかな所以外
でも小さく鐘の音
が聴こえた」と気
づいた子がいました。こ
の発見により、鐘の音の
重なりが華やかさを表す
だけのものではないこと
を感じ取っていきます。
そして、もう一度音楽を
聴いて確かめたいという
思いが膨らみ、学びが深
まっています。

「音の重なりを感じる」
ことができるよう、学習
過程を「気付く」「感じ
取り深める」「味わう」
という3段階に構成した
「アルルの女第一組曲よ
り『鐘』」の実践(小学
校3年)を紹介します。



話し合いの内容を捉える

楽しみな授業を

をしようと構えたり、終
末の華やかさを動作で表
したりするなど、旋律が
重なり合うおもしろさを
味わう姿が見られました。

鑑賞の授業において言
語活動の充実を図ること
で、子どもたちは、気付
いたことを共有しながら
味わって聴くことができ
るようになり、「今日は、
どんな音楽を聴くのか?」
と鑑賞を楽しみにするよ
うになってきました。そ
れは、共通事項を視点と
して話し合い、検証し、
更に音楽に戻り実感を得
るという学習活動を行っ
た成果ともいえます。

味わう

話し合いの後は、再度
音楽を聴いて、自分たち
が気付き、感じ取ったこ
とを確かめ、楽曲全体を
味わっていきます。初め
はただ鐘の音に合わせて
身体表現をしていた子ど
もたちが、曲の中間部後
半では、もう一方の旋律
を聴きながら鐘の音が鳴
り出す前に鐘を打つ動作
を行いました。ここが言
語活動の重要な場
面であるため、グル
ープの話し合いを
ホワイトボードに
メモらせていきま
す。

実践NOTE 22

「楽しい」社会科

浜松市立広沢小学校 教諭 袴田 暁広



対立する概念から検討

本校の校内研修は、研
修教科を自分で選ぶこと
ができます。そこで私は、
社会科の授業改善を通し
て、研修を深めようと思
いました。

かと思えました。そこで、
今年度は「単元を貫くめ
あて」を設定した上で、
歴史学習を進めてしまし
た。最初の単元である「大
昔のくらし」では、「細
文人と弥生人はどちらが
幸せだろうか?」を単元を
貫くめあてとしました。

「音の重なりを感じる」
ことができるよう、学習
過程を「気付く」「感じ
取り深める」「味わう」
という3段階に構成した
「アルルの女第一組曲よ
り『鐘』」の実践(小学
校3年)を紹介します。

「ふじのくに」に芸術祭
2013」2月23日(富
士山の目開幕

そこで、
各単元の
終わりに、
必ず二つ
の表現活
動を取り
入れるよ
うにしま
した。



子どもの表現する場(新聞作成)

「音の重なりを感じる」
ことができるよう、学習
過程を「気付く」「感じ
取り深める」「味わう」
という3段階に構成した
「アルルの女第一組曲よ
り『鐘』」の実践(小学
校3年)を紹介します。

「ふじのくに」に芸術祭
2013」2月23日(富
士山の目開幕



三島北高等学校の音色に夢中

「ふじのくに」に芸術祭
2013」2月23日(富
士山の目開幕

「ふじのくに」に芸術祭
2013」2月23日(富
士山の目開幕

「ふじのくに」に芸術祭
2013」2月23日(富
士山の目開幕

教育という職のすばらしさ vol.7 創る喜び、つながる喜び

藤枝市立葉梨中学校 教諭 秋山友徳



生徒と創る伝統

本校は全校生徒349人の中規模校であり、生徒たちは皆仲が良く、生徒と教員の関係も距離が近く、温かい雰囲気包まれた学校です。そんな本校に勤務して9年、また、特別活動主

任を任されて7年目となりました。特別活動主任になった7年前、「学校の自慢を創ろう」と生徒会活動を通して生徒と共に全力で活動しました。そして生徒が夢中になって取り組むことができる行事を、私も夢中になって企画し、それがいつしか本校の「伝統」となり、今の生徒にも継承されています。学校の伝統が生まれる瞬間に立ち会えたことは本当に幸せなことです。

現在も、今後の本校の伝統となりそうな「真・団バワ活動」という活動が行われています。これは学年をまたいだ縦割り集団を柱とした活動であり、ピア・サポート(近い異年齢間での支援)の精神を取り入れていきます。団の活動を通じて学校の活性化を目指し、3年生が企画した活動を、学年に関係なく一つになって取り組めます。下級生は、上級生の、団のために全力で取り組む姿、下級生に対して気を配る姿に感激し、上級生の気持ちに応えようとしています。この活動を通して、集団の中に絆が生まれ、質の高い

集団として育っていくことが期待されます。頼もしい先輩たちを見て3年生になった生徒たちが、下級生を引っ張り、個人として成長する姿や、団としての成長が見られることは、私にとってかけがえのない楽しみです。子どもの夢を結ぶ職業

卒業生が近況報告にやってきました。高校生になった教える子は、テストや部活の結果を報告しながら卒業後の進路について熱く語り、大学生になった教える子は、夢の実現に向けた悩みを相談しに来ます。また、結婚報告に来る教える子もいました。どの子も中学時代と同じように目を輝かせながら私に話をしてくれました。

彼ら、彼女らにとって母校である葉梨中は、夢を実現させる途中に、少し止まって自分自身を見つめるための宿り木のような役割を果たしているようです。私の目の前にいる生徒も、巣立って行った卒業生も皆、私の教える子です。教える子が夢をかなえていく姿を支え、夢に向かっていると、この仕事に就いたからこそ、多くの出会いがあったのだと思っています。

伝わる想い

教員になって私が学んだことは、自分の思いは必ず相手に伝わり、一生懸命やったら、相手も私の思いに応えてくれるということです。生徒も同僚も保護者も地域の方々も、自分の気持ちに共感してくれ、一緒になって学校を創っていくこととしてくれていきます。多くの人々と出会うことができ、感謝することからこそ、多くの出会いがあったのだと思っています。



判断を支えているもの!!

学校教育課特別支援教育室長 渡邊浩喜



行動は判断の連続です

例えば、私たちは常に何かの基準に基づいた判断によって行動しています。その多くは、あまり意識されないうちに処理されています。ところで、その判断している基準は何なんですか。判断の材料として、多

くの情報があればあるほど、総合的な判断が可能となります。目の前に見える客観的・物理的情報に加え、周囲の状況、過去の経過、現象に対する知識、分析・推論。情報の整理と統合が欠かせません。

価値の序列

様々な研修会等の中で「序列」を付けるという活動があります。実際、物事の価値は序列に付けられない連続線上にあるのかも知れません。

しかし、個々の判断には、個人の基盤となる価値観(価値の軽重)が影響していることは間違いありません。研修会等では、例えば、「自己実現」「楽しみ」「名誉」「奉仕」「金銭」「正義」「愛」「健康」「家族」などの言葉が用意され、①個人での順番付け、②グループでの順番付けの順番付けの確

伝統と実績! 慣習と前例?

学校教育には、普遍的・恒久的の本質と、その時代のニーズに応じた要素が必要で、培ってきた伝

統や実績、経験は大きな財産です。しかし、それが、慣習や前例、常識や一般論と言った曖昧なものや、過去の情報や知識に基づいた老化したものになっていないのか、と自分に問うことがあるのです。

ひと休みの① 脳の科学

人間の脳は、それぞれの部分で様々な機能を分担しています。そして、ある部分がダメージを受けた時、他の部分がその一部の機能を代償するといふすばらしい力を持っています。しかしその機能の代償には限界があります。ところが最近の研究では、機能を代償しよ

うとする良好な脳に適切なダメージを与えると、問題があった部分がそれを代償しようとして、自己回復するというのです。化学物質や細胞の移植、iPS細胞など、医療の進歩は著しいものです。

ひと休みの② 5円玉の回転

「5円玉を1回転させ移動します。内円も外円も1回転して同じ距離を移動したので、内円の長さと外円の円周の長さは同じである。」さて、どこに論理の矛盾があるのでしょうか。情報はただ取り入れるだけでなく、分析と検証が必要



富士山は「休火山」と思っていたんだけど、平成3年、火山噴火予知連絡会は、活火山を「過去およそ2000年以内に噴火した火山及び現在活発な噴気活動のある火山」と改めて定義しました。

ひと立ち止まって... ふと立ち止まって...

ふと立ち止まって、「今何を大切にしているのか、すべきなのか」、キーワードを思い浮かべ、その背景にある考え方や情報が最新かつ適切であるのか改めて探ってみることが大切です。今までなかった新たな視点を見逃さないように。

環境教育・環境学習に関する相談にのります

環境教育の応援団④ 静岡県環境学習コーディネーター 宮崎 一夫さん



今回は、県西部地域で、環境学習の支援・指導を続けている宮崎さんを紹介いたします。

プロフィール

- ・野生植物の調査や、自然観察会の講師等を務める。
- ・静岡県環境学習指導員、環境省自然公園指導員、静岡県自然公園指導員ほか。逸州自然研究会に所属。浜松市北区在住。

相談・連絡先(自宅) TEL:053-436-2299
E-mail:verdant@wish.ocn.ne.jp

子どもから大人まで、自然観察の楽しみを広めています

物心がついた頃から既に植物好きでした。特に草(草本)が好きで、今でも学び続けています。大人のための山野草観察会を企画したり、小学校の総合的な学習の時間で外部講師を務めたりし、植物と自然環境との関わりに興味や関心を持ってもらえるよう活動をしています。

体験し、感動することが大事

子どもや大人から「この植物の名前は?」とよく質問されますが、それは重要なことではありません。それよりも、実物を見たり、さわったり、食べたりして、五感で感動(感じて心を動かされること)してほしいですね。人から知識をもらうのではなく、感動し、喜びを得て、楽しみを作ったり、自ら調べたり訪ねたりしていくことが大切です。好きなことから始めてみればよいと思います。

植物分野でのコーディネーターや指導が得意

植物分野で多くの専門家と交流があるので、身近な地域の方を紹介できます。学校の周りの環境を調べたり、校庭の樹木を観察したりすることでも、工夫次第で、充実した環境学習ができます。お気軽に御相談ください(相談は無料)。【環境ふれあい課】

学校近くの川での水生生物調査

誰もが気軽にスポーツを ~静岡版オリンピック終了~

8月から行われてきた静岡県のスポーツの祭典「第6回しずおかスポーツフェスティバル」の全てのプログラムが、12月に終了しました。県内全て、35市町で135種目の競技が開催され、多くの方の参加をいただきました。

■ライフステージに応じたスポーツを!

オリンピックイヤーだった昨年は、日本代表などとして選ばれた本県関係選手が世界や全国の舞台上活躍した年になり、競技スポーツに注目が集まりました。しかし、誰もが、いつでも、どこでも気軽に参加できるスポーツも、心身ともに健康で、人生をより豊かに生きていく上では重要です。そうした機会を提供してくれるのが静岡版オリンピックでもある「しずおかスポーツフェスティバル」です。

■皆さんも参加してみませんか。

しずおかスポーツフェスティバルは、毎年、県内全各市町において、主に8月から12月までの間に開催されます。皆さんもこの大会に参加し、親睦や交流を深めてみませんか。今年の開催情報は、6月頃、本課ホームページに公開します。

幼児期には「ふじのくにファミリープレイプログラム」「ファミリーチャレンジプログラム」を。

【スポーツ振興課】

タグラグビー大会

不登校児童生徒への学習支援

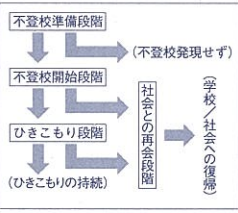
～「ステップバイステップ」の取組から～

「ステップバイステップ」って?

一学校を休んでいる間に授業がどんどん進んでいるので、ついていけないから、「心配」という相談をよく受けます。不登校になり休みが長期化していくうちに「学習の遅れ」が教室への戻りにくさを助長するケースが多くあります。そこで、当センターでは、不登校の児童生徒を支援するために、県内の3か所で学習支援室「ステップバイステップ」を開いています。そこでは、一人一人の学びの進度に合わせ、一対一で支援することを基本姿勢としています。

通室してくる子どもたち

一不登校対応ガイドブック」等の著者である齋藤万比古氏によると、不登校の経過には、次のような段階があります。



学習支援室に来る子どもたちは、「社会との再会段階」にあると言えるでしょう。何年もひきこもり、学校の先生からの紹介でようやく通室してくるようになった子が少なくありません。中には震えながらやっとの思いで入室してくる子もいます。子どもたちは、学習支援員が自分を否定したり変えようとしてくず、そつと寄り添ってくれることで、安心して学習に取り組み始めるようになります。つまり、学習するからじつくりと学習することにより、「分かる」「できる」体験をして「学ぶ意欲」を取り戻し、結果として、学校に復帰したり、志望校への進学を目指したりします。

このように、不登校の子に安心して学習できる場を保障することは大切であり、子どもはそれによって自信を付け、「自立」へと向かっていくのです。

今後、学校や市町の適応指導教室等と連携を図りながら、よりよい支援を進めていきます。ぜひ御活用ください。

問 人へり支援教育相談班
054(286)9196

会場	場所	開設日
沼津	県立沼津視覚特別支援学校	毎週金曜日
静岡	県総合庁舎	毎週木曜日
掛川	県総合教育センター	毎週水曜日

観音山の春を満喫しよう

＜第2回観音山わくわくホリデー＞

日帰り家族や仲間と紙すき体験や自然体験活動などを楽しみますか?

午前中は、「世界に1つだけの紙づくり」。講師が付いての紙すき体験をどうぞ。午後からは春の観音山の自然を満喫できる選択活動(山頂登山、体力に合わせたハイキングなど)が楽しめます。全ての活動が終わったら、お風呂と夕食も。皆さんの参加をお待ちしています!

- ◇日時 平成25年3月16日(土) 午前9時30分～
- ◇対象 家族・仲間のグループ
- ◇参加費 1人あたり2,000円程度(昼食・夕食付)
- ◇申込み受付 平成25年2月2日(土) 午前9時～(電話のみ)(先着 60人)



問 県立観音山少年自然の家 〒431-2201 浜松市北区引佐町東久留女木字観音山 053(545)0111

＜第3回観音山オープンDAY＞

自然豊かな観音山で、春の気配を探してみませんか。今回は4つのハイキングコースを用意。体力、時間と相談しての参加が可能です。観音山の山頂付近では富士山が見えることもあります。どのコースにも所員が要所に立ちますので、安心です。また、ハイキングから戻ったら、お風呂で汗も流せます。お気軽に御参加ください。

- ◇開催日 平成25年2月23日(土) ※事前申込み不要
 - ◇受付時間 午前9時～11時
 - ◇参加費 無料
 - ◇ハイキングコース(所要時間・目安)
 - ・山頂ハイコース(4時間)
 - ・観音堂ハイゆつたりコース(3時間半)
 - ・星の広場ハイのんびりコース(2時間)
 - ・しりとりハイキング(1時間)
 - ◇持ち物:お弁当、飲料、タオル等(入浴される方)
- ※自動販売機はありません。
地図の貸出し有り。
※駐車場有り。帰着後自由解散。入浴は正午から可。

観音山の山頂付近から見える富士山

焼津さわやかハイキング

「歩かざあ、焼津」参加者募集

焼津には人気のハイキングコースが数多くあります。今回は満観峰への登山ハイキングの他、青少年の家で独自に設定した体験型の焼津下町ハイクや虚空蔵山(くくぞうさん)緑日散策(選択コース)と魅力的な内容となっています。少し早い春の訪れを、新たな発見と共に感じてみませんか?御家族で、友達同士で、皆様の御参加をお待ちしています。

- ◇期日 平成25年2月23日(土)～24日(日)【1泊2日】
- ◇内容 満観峰ハイキング、選択コースハイキング、ふれあいパーティー
- ◇対象 470メートル程度の山のハイキングを含め、2日間全行程を歩き通せる小学生以上の方。30人程度。
- ◇参加費 1人4,640円
※このほかに選択コースの教材実費がかかる場合あり。
- ◇申込み 2月1日(金)～2月15日(金)17時まで。電話にて。
※応募多数の場合は抽選
- ◇問い合わせ先 静岡県立焼津青少年の家 054(624)4675



昨年度は高草山へ。梅の花が咲き始めていました。

雑誌のススメ

障がいに対する理解を深めるために

県立中央図書館には、幅広いジャンルの様々な雑誌があります。今回はその中から、障がいについて身近なことなどと感じられる雑誌を紹介いたします。

「みんなねっと」 精神に障がいのある方御本人や家族が知りたい情報がたくさん載っています。精神障がい者フットサルに治療者として参加していた医師が今ではチームに入り、同じフットサル仲間として楽しんでいる話など、多くのエピソードが、紹介されています。(36/190)

障がいがあっても、なくても街や職場、家庭など、きつとどこかに自分のできる何かがあります。そもそも障がいって何でしょう。障がいについて色々と考えをきつかけになるかもしれない雑誌です。ぜひ一度御覧ください。

これらの雑誌は、最新号以外ほとんど貸出しができません。お近くの市町立図書館を通じて借りることもできます。各雑誌の最後に書かれている2から始まる数字は当館の資料の請求記号です。予約や検索の際の参考にしてください。

「Coolie女子部」 オシャレや恋愛など女子の関心事を、ざつとばらんに紹介している雑誌です。車椅子でお出かけできるオシャレなパリアドレスポットも紹介されています。(36/191)

「My Face」 顔や髪などの見た目の問題を大胆に取り上げた雑誌です。社会の中で、誰もが自分らしい顔で自分らしい生き方を楽しめるように、情報を発信しています。(6号まで発刊。安定した運営を目指し定期購読者確保を目的としています。)



県立中央図書館資料課

「ADULTOR」 新年明けましておめでとう! 私は雑誌の編集者です。筋書きはあらかじめ決まっていますが、編集後記の回は、毎回この書きかたを大切にしています。書きかたを大切にしたいので、ぜひ読んでください。今年もよろしくお読みします。私自身も読んでいます。

私は雑誌の編集者です。筋書きはあらかじめ決まっていますが、編集後記の回は、毎回この書きかたを大切にしています。書きかたを大切にしたいので、ぜひ読んでください。今年もよろしくお読みします。私自身も読んでいます。

「しずおかの文化講演会」

「静岡が生んだもう一人の鍔絵名人静岡左官の土壌と森田鶴堂の芸術」

鍔絵とは左官職人のコテを使った漆絵芸術。伊豆松崎町の入江長八と並び、名人と讃えられ静岡で活躍した森田鶴堂の芸術世界を知ることができます。

2013年1月19日(土) 14:00開演 グランシップ 9階 910会議室

講師:安本収(元駿府博物館学芸部長)

コーディネーター:八木洋行(「しずおかの文化新書」編集長)

参加費:700円※事前申込制、当日支払い

お申込:住所・氏名・電話番号・参加人数を明記して下記までお申し込みください。
グランシップ「しずおかの文化講演会」係 TEL.054-289-9000 FAX.054-203-5716 E-mail.info@granship.or.jp
主催:(財)静岡県文化財団、静岡県